



くすりと健康

● 神戸市薬剤師会 ●

水虫の治療について

夏は好きな季節だけど、水虫に悩まされるのでイヤという方は、老若男女を問わず多いようです。

しかし、現在では水虫の犯人である白癬菌はくせんきんに対し、優れた抗菌作用を持つ薬も発売されていますので、治らないとあきらめず、根気よく治療を続けてください。

水虫の治療には、塗り薬と飲み薬が用いられます。塗り薬は、直接患部に塗って菌を殺したり、発育を抑える効果があり、特に、足水虫の場合に多く用いられます。薬を塗るときは、足をよく洗って皮膚表面の汚れを落とし、最低1〜3カ月間、毎日欠かさずに塗り続けてください。足の指の間や足裏全体にも塗り残しのないように、しっかりと塗るようにしましょう。

塗り薬には浸透力に優れたクリー

ム剤、刺激性の少ない軟こう剤、およびアルコールを含む液剤の3種類があります。このうち、どの症状にも使用でき、べとつかず使用感が良いことから、クリーム剤が最もよく使われます。軟こうは刺激が少ないので、亀裂ができて痛む場合にも使用できます。液剤は浸透力に優れ、アルコールを含むため乾きやすくサラツとした使用感ですが、刺激性があるため、症状の悪化したときには使えません。

足の親指に多い爪水虫は、自覚症状はほとんどありませんが、症状が進むと、靴を履くときなどに痛みを感じるようになります。爪水虫の診断は顕微鏡検査で行うことができます。自覚症状があるだけでは、水虫でない場合も考えられます。必ず皮膚科専門医を受診して検査を受けてください。

爪水虫の治療には、飲み薬が効果的です。塗り薬では爪の中に薬の成

分が届きにくいいため、治りにくいのですが、飲み薬は薬の成分を患部に効果的に到達させるため、足水虫でも治すことができます。ただし、以前に薬を飲んで発しんなどが出たことのある方や、薬によっては一緒に服用してはいけないものもありますので、ほかの薬を服用されている方は、そのことを医師に伝えてください。また、中途半端な治療では再発してしまいますので、症状が良くなっても勝手に治療を中断せず、きちんと指示通りに服用してください。きちんと治療すれば、飲み薬は服用終了後も効果が持続します。

さあ、早速水虫の治療を開始してきれいな足を取り戻し、女性の方々はさつそうと軽快なサンダル姿を楽しんでください。男性も健康な爪になつて、さわやかな気分度過ごしましょう。そして、再発を防ぐために、日ごろから足を清潔に保ち、乾燥を心掛けることが非常に大切です。